



## 協同組合とSDGs

### 前田健喜

(日本協同組合連携機構〈JCA〉  
協同組合連携部長)

## 第3回 SDGs・「2030アジェンダ」と協同組合

前々回・前回とSDGs、それが含まれた国連の文書「2030アジェンダ」について紹介してきました。今回はこれらを協同組合としてどう受け止めるべきかについて、考えてみたいと思います。

### SDGsの実現に向けた世界的な動きへの参加

2030アジェンダは、全ての人の生活の必要が満たされ健康的な生活を営むことができ（経済）、不平等や差別や排除がなく誰もが尊重され尊厳をもって生きられ（社会）、地球環境・資源が持続可能な形で保たれる（環境）、という経済・社会・環境を通じたビジョンを掲げています。「誰も取り残されることなく」全世界の人たちが（将来世代も含め）、この有限な地球の上で幸福に生きられる世界を、関係者のパートナーシップのもと協力して創ろうというビジョンです。

こうした未来社会の一つの全体的なビジョンが関係者の参加を得て各国政府が合意して作成されたこと、またビジョンを具体化したSDGsの実現に向けた取り組みに政府・民間から多くの主体が参加し、それが社会的なうねりとなりつつあることは、画期的であり極めて重要な動きです。

利益ではなく人を中心に置き、人々のニーズや願いを実現することを目的とし、協同組合の第7原則において「地域社会の持続可能な発展のために活動する」ことを掲

げる協同組合が目指すものと、人類が幸福に生きられる世界を目指す2030アジェンダのビジョンは重なり合います。SDGs達成に向けた現在の世界的な動きに協同組合も参加し、SDGsの実現に貢献していくことが重要です。

### 人々の暮らし・仕事への関わり、参加と協同を生かす

SDGsの実現に貢献していくに当たり、意識し生かすべき協同組合の特徴の一つは、人々の暮らしや仕事に広く深く関わっていることです。人に基盤を置く組織である協同組合は、地域で暮らす多くの組合員の暮らしや仕事に深く関わり、さらに組合員が生きる地域社会にも関わります。JAや生協をはじめ各種の協同組合全体で考えれば、さらに多くの人々、さらに広い生活や仕事の領域に関わります。実際、次ページの表のように、全てのSDGsに協同組合の取り組みをひもづけることができます。

もう一つの特徴は、参加と協同という方法です。2030アジェンダで全ての関係者の参加やパートナーシップが強調されているように、協同組合の原則である参加や協同は、今後の社会を創っていくため

にますます必要とされていくし、協同組合は参加や協同を自ら丁寧に実践しながら、その豊かさや楽しさを伝播<sup>でんぱ</sup>させていく役割があるだろうと私は考えています。

具体的には各組織は、「SDGsについて理解し、SDGsの実現に貢献することを決め、SDGsに関係する既存の取り組みを洗い出し、優先課題と目標を設定し、実践し、進<sup>しん</sup>捗<sup>ちよく</sup>を点検しさらに実践するとともに、内外に取り組みを発信する」という形で、経営や運営に組み込んでいくこととなります。

### 始まっている協同組合の取り組み

協同組合の中でもSDGsに貢献する取り組みが始まっています。例えば、働く者の協同組合であるワーカーズコープの連合会である日本労協連は2018年3月に「協同労働×SDGs宣言」を決定し取り組みを打ち出しました。日本生協連は2018年6月に「SDGs行動宣言」を決定し、全国の生協とともに持続可能な社会の実現を目指すことを宣言しました。日本政府が2017年から始めた「ジャパンSDGsアワード」ではこれまでの2回とも、生協が受賞団体に含まれています（第1回はパルシステム連合会、第2

表 SDGsに貢献する協同組合の取り組み

目標	協同組合の取り組み例	目標	協同組合の取り組み例
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組合員の所得向上、金融・共済サービス</li> <li>○多重債務問題への取り組み</li> <li>○困難を抱える女性や若者・高齢者・障がい者・生活困窮者等の就労支援や雇用促進</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○困難を抱える女性や若者・高齢者・障がい者・生活困窮者等の支援</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内農林漁業の振興と食料の安定供給、環境保全型農林漁業の推進</li> <li>○発展途上国における農林漁業支援、協同組育成支援</li> <li>○高齢者・障がい者等への配食事業</li> <li>○こども食堂・フードバンク ○移動販売車</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティバス・買物バス・移動販売・介護タクシー等の運営</li> <li>○シェルター事業等の一時的住宅支援</li> <li>○高齢者・子ども・障がい者等の居場所づくり</li> <li>○地域の見守り・助け合い活動</li> <li>○交通安全インフラ整備</li> <li>○農林漁業を通じた環境保全と防災</li> <li>○共済サービスを通じた被災者の生活再建支援</li> <li>○災害救援活動</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院・診療所・歯科等の運営</li> <li>○僻地医療の提供 ○高齢者・障がい者等のケア事業</li> <li>○健康づくり・介護予防活動 ○子育て支援</li> <li>○地域の見守り・助け合い活動 ○交通安全対策</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品ロスの削減</li> <li>○食の安全確保と情報提供</li> <li>○フードバンク・リサイクル事業等を通じた資源効率の改善</li> <li>○エシカル消費に関連した商品供給や情報提供</li> <li>○国内外におけるフェアトレードの促進(持続可能な生産の促進)</li> <li>○農業資源・森林資源の持続可能な利用</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○奨学金問題への取り組み ○学習支援事業</li> <li>○学生生活支援サービス ○大学等における寄付講座</li> <li>○食農教育・環境教育・生涯学習</li> <li>○各種専門技術教育・職業訓練の提供</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林整備によるCO<sub>2</sub>吸収機能の発揮</li> <li>○事業におけるCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組み</li> <li>○屋上緑化・グリーンカーテン等の取り組み</li> <li>○再生可能エネルギーの普及・促進</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性を含めた雇用創出 ○子育て支援</li> <li>○女性が働きやすい職場環境づくり</li> <li>○DV等から女性を保護するシェルター事業</li> <li>○女性役員の登用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○持続可能な海洋資源管理</li> <li>○海洋への栄養分を供給するための森林整備</li> <li>○商品購入を通じた海洋保全の取り組み</li> <li>○海洋環境保全団体への助成事業</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林・水田管理を通じた水資源の保全と生態系の保護</li> <li>○「せっけん運動」の普及・促進</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境保全型農業の推進</li> <li>○在来種の保存</li> <li>○森林資源の持続可能な利用</li> <li>○森林整備による生物多様性の保全</li> <li>○里山再生</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○太陽光・風力・小水力・バイオマス発電</li> <li>○バイオディーゼル燃料事業</li> <li>○エコオフィス・エコ住宅等の促進</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキの実施</li> <li>○ヒバクシャ国際署名活動の支援</li> <li>○平和問題への取り組み ○核兵器廃絶の取り組み</li> <li>○刑余者・保護観察対象者等の就労・社会復帰の支援</li> <li>○参加型意思決定の実践</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農林漁業者・中小企業の事業支援</li> <li>○中小企業・農林漁業者への金融サービスを通じた成長支援</li> <li>○フードバンク・リサイクル事業等を通じた資源効率の改善</li> <li>○困難を抱える女性や若者・高齢者・障がい者・生活困窮者等の就労支援や雇用促進</li> <li>○働きやすい職場づくり</li> <li>○グリーンツーリズム等の持続可能な観光業</li> <li>○勤労者・非正規勤労者・失業者への金融支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内外における協同組合間の連携</li> <li>○国内における自治体、労働組合、NGO・NPO等との連携</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括ケアへの取り組み</li> <li>○農林漁業・中小企業における持続可能な技術の導入支援</li> <li>○中小企業への金融サービスの提供を通じた成長支援</li> <li>○中小企業の研究開発支援</li> </ul>		

回は日本生協連)。全国労働金庫協会も2019年3月に「ろうぎんSDGs行動指針」を公表しました。JA全国女性協は2019年5月の通常総会で特別決議「持続可能な社会を築くために～50万パワー☆のSDGs宣言」を行いました。私たちJCAも2019年2月に「SDGsに対するJCA

の取り組みについて」を決定し、国内の協同組合のサポートや協同組合のアピールなどSDGsへの取り組み強化を打ち出しました。

上表に見るように、協同組合はすでにSDGsの実現に貢献する多くの取り組みを実施している、ということもできます。しかし、そうした

取り組みをSDGsという世界的な文脈に位置付け、SDGsという共通言語を通じて表現することは、SDGsへの貢献をさらに進めると同時に協同組合の取り組みをアピールし、よりよい社会づくりに向け協同する仲間を広げていく絶好の機会でもあると私は考えています。